

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月2/日

和泉市長 あて

団体名 緑ヶ丘夏まつり実行委員会

代表者名 齋藤 公彦

所在地 和泉市緑ヶ丘1-10-1

電話番号 0725-38-1101

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	緑ヶ丘夏まつり
申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☐ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☒ 地域活性化コース
事業費総額	1,340,000 円 (うち、対象経費 980,000 円)
支援金 交付申請額	490,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 調 書

フリガナ	ミドリガオカナツマツリジッコウインカイ		
団体名	緑ヶ丘夏まつり実行委員会		
団体の目的	緑ヶ丘校区及び近隣校区に対して、夏まつりを核としたイベントの企画実行を通して地域の活性化を目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1155 和泉市緑ヶ丘一丁目10番1号 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（緑ヶ丘自治会館）】		
	電 話	0725（38）1101	F A X （ ）
フリガナ	サイトウ キミヒコ		
代表者氏名	齋藤 公彦		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名） フリガナ	電 話	
		F A X	
	（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成23年4月	主な活動地域	緑ヶ丘校区
会報等の発行	有（ 回発行）・（無）	会員数	人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	夏まつりの企画実行		
主な活動の実績	過去10回の夏まつり実施 令和1年度から3年度は新型コロナウイルス感染症対策で中止 令和5年度4年振りに実施		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	緑ヶ丘夏まつり
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☐ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☒ 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 緑ヶ丘校区及びその近隣は新旧の住宅地が混在し発展を続けている。住民同士の意思疎通の希薄化を防ぐ手立てとして、伝統的なイベントがないので住民発案で夏まつりを核とした交流を行っている。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 シニア世代、子ども世代も参加する全世代型の夏まつりを企画実行する。世代間、地域間の協働、共生を実践の場での促進と孤独化緩和の一助とする。これによって、世代間、並びに地域の活性化を図る。 令和5年度に4年振りに実施し、準備に不慣れな部分もあったが、大勢の参加があり、楽しんでいただけて、次年度の開催を望む声が多数あり開催することを決定した。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 模擬店、演技発表の会場を住民パワーで設営、運営を行う。猛暑による熱中症、台風等による不測の事態にも対応できるように計画に織り込んでおく。 ・ 模擬店・・・桃山学院大学駐車場会場 ・ 夜店&ホールでの演技発表・・・自治会館会場	
② 実施期間（日時）	令和6年8月3日(土)17時～21時（予備日 8月10日）
③ 実施場所	いずみ緑ヶ丘自治会館及び隣接の桃山学院大学駐車場
④ 主な対象者	緑ヶ丘校区及びその近隣校区住民
⑤ 参加予定者数	1500人程度
⑥ 告知方法	・ 緑ヶ丘校区の住戸並びに広告協賛者に約1300枚のチラシを配布し祭りの催しについて周知している。 ・ その他、回覧、掲示板を利用する。

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容 ～9月中 事業の在り方協議、事業企画・エントリー準備 9月末 事業申請 1～3月 実行計画の立案、出店者・出演者等の参加者募集、審査会 4～7月 出店者も含め実施計画、運営体制の調整・確立 8月 夏まつりの開催（8月3日） 9月 反省会実施、次年度企画検討
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	① 夏まつり後の反省会・アンケートにて、参加者の反応、意見を集約しており、約8割が良かったとの評価、継続を望むものもほぼ同等である。 ② 家族連れの参加も多く、又運営も住民主体でオープン参加のため自然と交流の場を提供できており、世代間地域間の協働促進となっている。 ③ 世代間地域間の協働促進となり、住民同士の意思疎通の希薄化を防ぐことに繋がる。
② 継続性	④ 平成26年度より、市の支援（ちょいず）による夏まつりを継続実施しており、地元に着したイベントになっている。 ⑤ イベントに参加することで、他のことに関してもより住民の参加意識が高まる効果が見られる。他のイベント（歌声喫茶、年末パトロール、避難訓練など）への参加意識も高まっている。 ⑥ 団体協賛金、事業収入、広告料で費用の大部分（約6割）を賄っている。
③ 実行性	⑦ 地域の核となるイベントになるよう地域の特性に合わせ自治会館を会場として催す。前年度実績等から事業計画、予算を立案している。 ⑧ 自治会及び子ども会、シニアクラブ、地域団体で実行委員会を組織し、事務局を自治会館に置くなどの管理体制を敷いている。 ⑨ 対象経費：98万円に対し、支援金交付申請額：49万円としている。収支のバランスもとれている。 ⑩ 毎月、委員会を実施し事業計画、予算について検討している。
④ 協働性	⑪ 桃山学院大学、緑ヶ丘小学校など緑ヶ丘校区近隣の団体に参加を呼びかけ、子ども遊び広場の催しなどに参加していただいている。 ⑫ 夏まつりの実行に当たっては、関係者による実行委員会で調整の場を持っている。 ⑬ 夏まつりの運営は、実行委員会のメンバー、参加団体の他、ボランティアも参加し住民主体としている。また、子どもからシニアまで世代を超えて交流することができる場となっている。
④ 公開性	⑭ 緑ヶ丘校区並びに近隣校区の住戸並びに広告協賛者に約1300枚のチラシを配布し夏まつりの催しについて周知している。 ⑮ 夏まつりの出店者・出演者募集は地域の活動団体に、運営ボランティアは住民に回覧等の募集により参加を呼び掛けている。
⑥ 発展性 （先駆性・展開性） （集客性）	⑯ 緑ヶ丘校区並びにその近隣より、子どもたちからシニアまで家族連れが多く来場し、毎年約千人超の参加者が楽しんでいる。 ⑰ 大人向けと子ども向けとのゾーンに分け、幅広い世代が参加できるよう工夫している。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 緑ヶ丘夏まつり

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	490,000.-	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	300,000.-	屋台村の売り上げ
	300,000.-	一般協賛の広告掲載（1口1万円）
自主財源	250,000.-	団体協賛金（自治会、子ども会等）
合 計	1,340,000.-	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	150,000.-	出演謝礼：1万円6団体 出品謝礼：5千円6団体 スライム制作指導2万円 参加賞4万円（200円*200名）
消耗品費	450,000.-	段ボールゴミ箱、事務用品、消毒用品 夜食用食材、設営材料、追加テント他
食料費	20,000.-	スタッフ飲料代（100円*200名分）
印刷製本費	20,000.-	パンフレット、チラシ 1500部（A3 カラー両面）、掲示用ポスター、回覧コ ピー
役務費	10,000.-	保険料、ごみ処分手数料、代引き手数料
委託費	80,000.-	警備業務、営繕（会場設営）、チラシ配布
使用料及び賃借料	250,000.-	机、イス、ベンチ：業者よりレンタル、 設置・撤去作業含む
報償費（対象外）	310,000.-	設営・撤去費（団体内人件費）
消耗品費（対象外）	50,000.-	景品
合 計	1,340,000.-	
対象経費	980,000.-	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書 追加資料

1 団体名	緑ヶ丘夏まつり実行委員会
2 事業名	緑ヶ丘夏まつり
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☐ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☒ 地域活性化コース
4	令和 5 年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。 ① コロナ禍による3年間のブランクにより準備、実行推進委員の意識の低下と人員不足があった。 ② 当日突然の雨(夕立)があり雨対策の不備が露呈しました。 ③ 計画、準備期間を十分設けて継続開催するよう努める。
5	令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 ・新たにに取り組む事項 ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項 ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に変化がある事項 等 ① 自治会等に依頼し、会館利用の各種クラブの発表の場を拡大し、夏まつりの一部として取り入れる。 ② 支援金を受け取ることで、子どもから大人まで全住民、全世代が活動し楽しめ、まとまりと思い出造りが出来る夏まつりとする。

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。